

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区靴屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
https://www.town.taka.lg.jp/library/

こと は 言の葉だより 日本資本主義の父 渋沢 栄一 編

令和の新1万円札の肖像画にも選ばれた栄一は、江戸時代末期、武蔵野国(現在の埼玉県深谷市)に生まれます。彼の家は主に藍の葉を農家から買い付け紺屋(染物屋)に売ることを生業としており、農家でありながら商人も兼ねていました。栄一の父は彼に幼い頃より漢文を習わせ、四書五経まで学ばせています。そんな経験が活かされたのか、代理で藍の買い付けに出かけた時も、13歳にして取引を成功させ周りを驚かせます。

商売の面白さに気づく一方、常々、武士の理不尽な振る舞いに憤りを覚えていた栄一は、次第に尊皇攘夷へと傾倒。高崎城を乗っ取るという大胆な計画を企てますが、実行直前、従兄弟の説得によって断念しています。そんな中、かつて交遊のあった平岡円四郎という人物の声かけで、一橋家の慶喜に仕えることとなります。そこで様々な改革を実行し、手腕を発揮します。

26歳の時、将軍になった慶喜からパリ万博使節の一員に任じられ渡欧。そこで株式制度などを学びます。倒幕により帰国を余儀なくされますが、その類いまれな能力を買われ、今度は一転、新政府の一員として働くこととなります。その事業は廃藩置県の立案、藩札を廃止する貨幣制度の改革など、現代の日本社会の礎になるものばかりです。

33歳の時、民間にも人材が集まらなければ国は豊かにならないと大蔵省を辞め、第一国立銀行や抄紙(製紙)会社などを創立。彼が設立に関わった会社の数は500以上あるといわれています。そして得た利益は公のために使うべきと、福祉や教育などの慈善事業にも尽力し、多くの功績を残しています。

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 4月 —							— 5月 —							— 6月 —						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3						1			1	2	3	4	5	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

※蔵書点検に伴う休館のお知らせ
八千代図書室 4/15 加美図書室 4/16
多可町図書館 4/21~23

休館日

【こたえ】 I...② II...① III...④
IV...① V...③ VI...②

道理が正しいか、時運に適しているか、人の輪を得ているか、おのが分にふさわしいか。

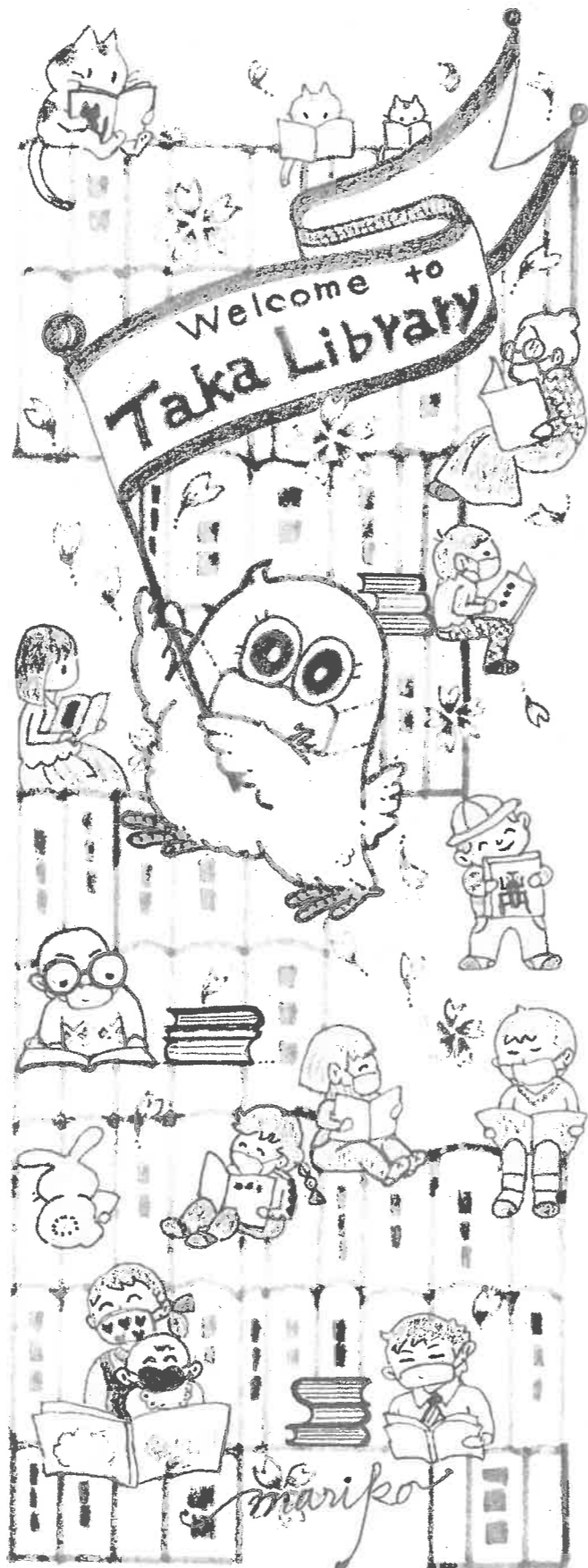
— 「事業を始める前に先ず考えるべきこと」として 栄一が息子たちに語った言葉より —

渋沢栄一さんに関するクイズです。

- I. 大蔵省を退職後に設立した第一国立銀行は現在の何銀行でしょう
①三井住友 ②みずほ ③三菱UFJ ④りそな
- II. 将軍慶喜公の弟、昭武氏につきそいパリへ随行した時に衝撃を受けたこととは?
①スエズ運河の工事 ②蒸気機関車の往来
③紡績工場の発展 ④舗装された道路
- III. 昭和の初め、悪化する日米関係を緩和することを目的とした事業を企画。それは何?
①交換留学生受入事業 ②伝統工芸品の交換事業
③国花(桜とバラ)の交換事業 ④人形交換事業
- IV. 「道徳経済合一説」を唱え続けた栄一が書いたビジネス本は?
①論語と算盤 ②礼記と算盤
③中庸と算盤 ④儒教と算盤
- V. 2024年に発行される新1万円札裏面に描かれる予定の絵柄は何?
①日本銀行 ②富嶽三十六景
③東京駅 ④東京証券取引所
- VI. 経営方針や経営理念を巡って栄一と対立。「東洋の海上王」と呼ばれた人物とは?
①五代友厚 ②岩崎弥太郎 ③新島襄 ④森有礼

【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『伝記を読もう 渋沢栄一』(あかね書房)、
『この人を見よ! 歴史をつくった人々伝 25 渋沢栄一』(ポプラ社)、
『小学校では学べない渋沢栄一のやりぬく力』(KADOKAWA)



「ワクワク図書館へ行こう」

多可町教育長 越川昌信

「ピカピカの一年生」こんなキャッチコピーがぴったりの季節がやって参りました。ご家族の中には新たな門出を迎えられた方もいらっしゃるかと思います。このたび、一足早く「ピカピカの一年生」となりました教育長の越川昌信でございます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、多可町では、向こう5年間で子どもたちの読書活動をより一層進めていくために「第3次多可町子ども読書活動推進計画」をつくりました。主な取組をあげます

と、多可町図書館では、ご好評いただいております学校園や児童館、子育てふれあいセンターなどへの「出前図書館」という貸出サービスをより一層進めます。また、4月23日は「子ども読書の日」(「こどもの読書週間」は4月23日〜5月12日)ですが、それに合わせて特別おはなし会の開催や特集コーナーの設置をし、子どもたちの読書活動への支援をおこないます。ぜひ、ご利用ください。

ところで、私は小学生の頃、冒険小説が大好きでした。冒険小説を読むと自分がタイムマシーンに乗ったかのようなワクワクした感覚を味わうことができました。また、

担任の先生から給食の時間に読み聞かせをしていただき、続きをワクワクして待っていたことを今でも鮮明に覚えております。

今、多可町では子どもたちに1人1台のコンピュータが配備され、学びを取り巻く環境が大きく変わりました。こんな時だからこそ、コンピュータとともに身近に本がある環境をつくり、ワクワクしながら読書も楽しむ子どもたちが多くなることを期待しています。「出前図書館」はそのための取組で、ご家族そろって本に親しんでいただくきっかけになれば幸いです。

ぜひ、図書館にお運びいただきワクワクする本との出会いを味わってください。



『沈黙』



村上春樹／著
全国学校図書館協議会
ジャンル:小説 (Fムラ)

「沈黙」といえば、遠藤周作の代表作として有名ですが、村上春樹にも同名の作品があることをご存知でしょうか。

主人公は大沢さん。その大沢さんに「これまでに喧嘩をして誰かを殴ったことはありますか？」と、ほんのちよつとした好奇心にくすぐられた僕が訊ねる場面から始まります。

その、ほんのちよつとした好奇心のもとになったのは、大沢さんが中学生のころからずっとボクシングのジムに通っていると聞いていたことでした。それまでに何度か一緒に仕事をしてきたけれど、大沢さんは物静かで、仕事ぶりは誠実で、どんなに忙しいときでも他人を攻撃したりしない人柄で、どう考えてもボクシングとの結びつきに合点がいかなくなりました。

しかし大沢さんは、「僕は一度だけ人を殴ったことがあります」と答え、中高生時代にあった忌まわしい思い出を話し始めます。

人として大切なことをじっくり確かめることのできる短編です。特に若い世代のみなさんにぜひ読んでいただきたい作品です。(ゆ)

『空がおしえてくれること』



蓮菜大介／著
幻冬舎
ジャンル:実用書
(451ホ)

身近な存在の空。しかし意外と知らないことも多いのではないのでしょうか。この本では、気象予報士の著者が「〇〇がおしえてくれること」と題して様々な天気を解説しています。

「晴れ」と「くもり」の境目をご存知ですか？正解は、雲の割合。空を見上げた時、9割以上雲があると「くもり」なのだそう。ちよつと意外な割合ですね。また雨の日は憂うつになりがちですが「雨は『花の父母』」など、雨を好ましく思える言葉も掲載されています。

毎年のように更新される記録的猛暑や、観測史上初めて沖縄で雪が降るなどといった驚くべきニュースを耳にします。これは日本の上空を西から東へ、南北に蛇行しながら吹いている「偏西風」が原因です。蛇行が大きくなることで、偏った天候になるのだとか。著者は個人の見解としながらも「地球温暖化が偏西風の蛇行を大きくさせている」と述べています。

日々の天気や自然への関心を深めると同時に、大切な命を守るため、災害に備える心構えを身につける、きっかけになる1冊です。(あ)

『ピッグル・ウィッグルおばさんの農場』



ベティ・マクドナルド／作
岩波書店 (K933マ)
ジャンル:児童書

いったいこの世に、お父さんやお母さんたち大人を少しも困らせない子どもがいるのでしょうか。どんな子どもにも、ちよつとした悪癖や困ったところがあるものです。誰もが、よりよく成長したい、その途中にあるのですから。さて、ピッグル・ウィッグルおばさんはたくさんの動物たちといっしょに郊外の農場で暮らしています。イヌのワグ、ネコのライトフット、牛のアーバタスに馬のトロツキー、そしておしゃべりするオウムのペネロペ。ほかにブタやニワトリたちもいます。

そんなおばさんたちと農場で暮らすうち、さまざまに嘘つきで両親を困らせていたフェットロツクは、嘘を言わなくなりす。あらゆる物をバラバラに分解してしまおうジェイも立派な修理屋さんになりますし、常に気が散っていて探し物が出来なかつたモートンさえ、世界中の誰より物を見つけるのが上手な子になるのです。農場での仕事、自然や動物たちとの関わりから、子どもたちはみんな自分の力で、困りごとを克服し成長していくのです。(り)

みどりこども園 5才児 4才児

1/7、14

みどりこども園の5歳児23名、4歳児14名の子どもたちが、元気いっぱいに来館してくれました。おはなし会では、牛が登場する紙芝居や雪をテーマにした絵本、ストーリーテリング、大型絵本を楽しみました。みんなとても熱心におはなしをきいてくれました。



その後、館内で一人ひとりお気に入りの本を見つけて、カウンターで貸出手続きをしました。図書館で楽しい時間が過ごせたかなあ？

親子で楽しむ 手遊び・工作の時間

3/7



講師は、三田市で子育て支援コーディネーターとして活動されている、長野薫さん。親子連れやおはなしの会の会員など、17人が参加しました。子どもを手で優しくマッサージしてあげることで発達が促されたり、表情が増えたりするという“タッチケア”について学び、実践しました。子どもたちはとても気持ちよさそうな表情を浮かべていました。「読み聞かせの時も、手遊びやふれあい遊びをまじえながら行うとよいですよ」と長野さん。他にもエプロンシアターを見たり、身近な素材を使った工作を行ったりと、笑い声の絶えない楽しい時間を過ごしました。



かるた会 1/9

「百人一首」には5人が参加し、6年生は源平戦、4・5年生は3人1組でちらし取りを行いました。読み手が下の句を読み終わってもなかなか見つからないこともあれば、上の句が読まれるやいなや手が伸びることも。最後まで白熱した戦いが繰り広げられました。小学3年生以下の「いろはカルタ」には、13人が参加。未就学児の中には、家で一生懸命練習してきた子もいました。真剣な中にも楽しそうな雰囲気にも包まれたかるた会。来年も来てくださいね。



図書館がより便利に!!

コロナ禍、もっと便利に図書館を使っていたらこうと、在庫図書に対する取り置き予約が可能に、さらに貸出期間もWEB上からご自身で1回限りですが、延長することが可能となっています。また、以前より毎週土曜日にはメールマガジンを配信しています。登録したキーワードに該当する本が入荷した時、メールでお知らせが届く仕組みになっています。便利なシステムを上手に使っておうち時間を楽しんでみてくださいね。

※WEB上の手続きはいずれも事前に設定が必要です。

「2021年本屋大賞」ノミネート作品

4月14日(水)に選考会が行われ、受賞作が決定します

売りたい本 いちばん! 2021年本屋大賞

候補作家	作品名	出版社	候補作家	作品名	出版社
伊吹 有喜	犬がいた季節	双葉社	深緑 野分	この本を盗む者は	KADOKAWA
青山 美智子	お探し物は図書室まで	ポプラ社	町田 そのこ	52ヘルツのクジラたち	中央公論新社
宇佐見 りん	推し、燃ゆ	河出書房新社	山本 文緒	自転しながら公転する	新潮社
加藤 シゲアキ	オルタネート	新潮社	伊与原 新	八月の銀の雪	新潮社
伊坂 幸太郎	逆ソクラテス	集英社	凧良 ゆう	滅びの前のシャングリラ	中央公論新社